

腸内環境を対象にしたワクチンデザイン・アジュバント開発の最前線

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
ヘルス・メディカル微生物研究センター
國澤 純

新型コロナウイルスの出現により、感染症が健康や社会生活に与える影響について改めて認識されるようになりました。同時に、感染症に対するワクチンの重要性と可能性が注目されています。ワクチンに対する反応を担う免疫細胞の多くは腸に存在することが知られています。同時に、腸には日々摂取する食品や腸内フローラとも言われる腸内細菌が存在し、免疫をはじめとする生体機能に影響を与え、その結果、健康の増進や病気の発症に密接に関わっています。

私たちは現在、食品成分や腸内細菌などが作り出す「腸内環境」と健康について、免疫学的観点を中心に研究を進め、得られた知見をワクチンのデザインや免疫増強剤であるアジュバントの開発に展開しています。さらに、腸内細菌と様々な健康状態との密接な関係が明らかになるにつれ、有害な病原体に対するワクチンだけでなく、有用菌を対象とした食品開発やマイクロバイオーム創薬の可能性が見えてきました。

本講演では、腸内環境をキーワードに「病原体に対するワクチン開発」や「食品成分や腸内細菌が形成する腸内環境と健康との関係解明」を目指して、私たちが進めている基礎研究と社会実装について、最新の知見を含めて紹介したいと思います。

略歴

氏名：國澤 純（くにさわ じゅん）薬学博士

学歴・略歴：

1996 年大阪大学薬学部卒業。

2001 年薬学博士（大阪大学）。米国カリフォルニア大学バークレー校への留学

2004 年東京大学医科学研究所助手。同研究所助教、講師、准教授

2013 年より医薬基盤研究所プロジェクトリーダー。

2019 年よりワクチン・アジュバント研究センター センター長。

2022 年より、ヘルス・メディカル連携研究センター センター長を併任。

2023 年組織改組により、ヘルス・メディカル微生物研究センター センター長。

その他

大阪大学医学系研究科、薬学研究科、歯学研究科、理学研究科・招へい教授（連携大学院）、神戸大学医学研究科・客員教授（連携大学院）、東京大学医科学研究所・客員教授、広島大学医系科学研究科・客員教授、早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構・客員教授などを兼任

一般向け書籍として「善玉酵素で腸内革命（主婦と生活社）」や「9000 人を調べて分かった腸のすごい世界（日経 BP）」がある。